

ドイツ民俗学会若手研究者ポスターセッション

Posterpräsentationen der Nachwuchswissenschaftler_innen der dgv

国際シンポジウム「ドイツ民俗学の最前線」開催にともない、ドイツ民俗学会の若手研究者によるポスターセッションを実施します。ポスターは、年会会期中の10月13日(土)13:00から10月14日(日)17:00まで、ポスターセッション会場に掲示します。

日時 2018年10月14日(日)12:00~13:00(昼食時間帯)

会場 駒澤大学駒沢キャンパス3号館2階211教場外側

発表

ラウラ・ゴッツァー (ミュンヘン大学)

「"Save Me"と都市：ミュンヘンの難民支援における都市的倫理の主観化」

オヤ・レツニコヴァ (ゲッティンゲン大学)

「トラック運転手ストライキにおけるキッチンの役割：ロシアにおける抗議運動の前提条件と矛盾としての再生産とケアワーク」

アリク・マズカトフ (フンボルト大学)

「法を活用し、道徳を変える：社会的実践としての差別禁止法」

発表 (原題)

Laura Gozzer, M.A. (Ludwig-Maximilians-Universität München)

"Save Me", and the city. Urban-ethical subjectifications in the support for refugees in Munich.

Olga Reznikova M.A. (Göttingen University)

"The Trucker Strike's Kitchen: Reproduction and Care Work as Precondition for and Contradiction within a Protest Movement in Russia"

Alik Mazukatow M.A. (Humboldt-Universität zu Berlin)

"Engaging Law, Transforming Moralities: Antidiscrimination Law as Social Practice"

※使用言語：英語

※通訳など担当：川松あかり・小泉優莉菜